

知床半島ヒグマ保護管理方針(素案)の構成について

第1章 管理方針の目的と背景

1. 背景

- 1) 管理方針策定の経緯
- 2) ヒグマの生態学的特性
- 3) ヒグマと人との軋轢と対策の現状
- 4) ヒグマ保護管理上の課題

2. 基本目標

- 1) 知床世界自然遺産地域を中心とした地域個体群の存続。
- 2) ヒグマによる人身被害の防止。
- 3) ヒグマによる地域産業への被害の防止。
- 4) サケ科魚類の捕食等を通じた海域と陸域の物質循環の担い手としての役割の維持。
- 5) 知床世界自然遺産地域の利用者の安全確保と良質な自然体験の提供の両立。

3. 運用期間

5年毎に見直しを行う計画として運用する。

4. 対象地域

知床世界自然遺産地域のヒグマの保護管理の実施にあたっては、同地域に生息するヒグマの行動圏を主な対象地域とする。

第2章 保護管理施策

1. 軋轢の現状モニタリングとその管理
2. 生息環境のモニタリングとその管理
3. 個体群モニタリングとその管理
4. 捕獲管理
5. 利用側の行動管理
6. 普及啓発

第3章 ソーニングと区域別管理

1. 国立公園先端部地区
2. 国立公園中央部地区
3. 隣接地域(ウトロ)
4. 隣接地域(羅臼)
5. 斜里側周辺地域(ウトロ以南の斜里町)
6. 羅臼側周辺地域(峯浜以南～標津町)

第4章 補遺(資料編)